

新規材料開発における初期検討や配合スクリーニングに必要な微粉末を、凍結粉砕機により効率的に作製が可能です。

常温では粉砕が困難な熱可塑性樹脂やゴム材料についても、熱影響を抑制しながら微粉末化が可能です。

- ・液体窒素により試料を脆化させ、機械的衝撃により微粉砕を行います。
- ・処理量は試料により異なりますが、目安として1回あたり約40～50gの粉砕が可能です。
- ・粉砕後は、ふるい分けにより粒径の選別が可能です。  
(粒径範囲例：45、75、100、150、250、500 μm)

## 【粉砕例】

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、各種ゴム・エラストマー材料、繊維、紙、木材など

### 冷凍粉砕機 JFC-2000 (日本分析工業(株)製)

|                         | 容量    | 最大試料量 |
|-------------------------|-------|-------|
| 容量別サンプル処理量<br>(ペレットの場合) | 120ml | 50 g  |
|                         | 75ml  | 30 g  |
|                         | 12ml  | 1 g   |

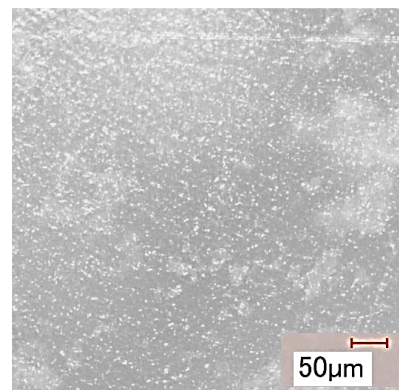
#### ● 装置外観



#### ● 粉砕容器外観



#### ● ペレット粉砕例



より多くの粉砕(kg単位)や、コンパウンド後の物性試験も対応しております。

- ・プラスチック材料のリサイクル評価 (各種樹脂材料の粉砕処理・樹脂の粉砕事例紹介)
- ・プラスチックの引張試験
- ・力学特性1 力学特性2

お問合せ先 株式会社ロンビック 樹脂検査分析センター

〒510-0871 三重県四日市市川尻町1000番地 TEL : 059-345-7622

E-mail : MCJP-DG-RBC\_JUSHIBUNSEKI@mcgc.com